



発行所:(株)上越タイムス社

■本社 〒943-8585 上越市高士町2-4-6 TEL.025-525-6666 FAX.025-525-6603

☎ 0120-17-4243 http://www.j-times.jp メール times@joetsu.ne.jp (昭和55年12月18日 第3種郵便物認可)

号 外

新潟県知事選挙開票結果(選管確定)

546、670	花角英世	60	無職	無・新①
509、568	池田千賀子	57	無職	無・新
45、628	安中聡	40	無職	無・新

※年齢は投票日当日の満年齢。無=無所属、新=新人。丸数字は当選回数

新潟県議上越市区補欠選挙開票結果(選管確定)

45、718	斎京四郎	52	無職	無・新①
41、459	平良木哲也	60	無職	つなく会・新

※年齢は投票日当日の満年齢。無=無所属、つなく会=県政と上越市民をつなく会、新=新人。丸数字は当選回数

新知事に花角氏



支持者と万歳三唱する花角氏(中央)。自民党県連の塚田一郎会長(右)、確認団体の渡辺毅会長(右から2人目)、妻・田枝さん(左)も歓喜と感謝の表情(10日午後10時40分)

池田氏、野党共闘及ばず

前知事の辞職に伴う県知事選挙と県議会議員の上越市選挙区補欠選挙は10日、投票された。知事選は前海上保安庁次長の花角英世氏(60)が、前県議の池田千賀子氏(57)が、立憲民主、国民民主、共産、自由、社民推薦を3万7102票差で破り、初当選を果たした。県議補選は前県立高校教頭の斎京四郎氏(52)が、自民、公明推薦が、前上越市議会議員の平良木哲也氏(60)が、共産、自由、社民推薦に4259票差で競り勝った。投票率は知事選が全県で58.25%、補選は56.33%だった。

午後10時19分にテレビの速報で花角氏当選が報じられると、新潟市内のホテルの開票見守り会場は万雷の拍手が起った。「花角」コールの中、入場した花角氏は支持者と万歳三唱し、柔らかな笑みを見せさせた。「多くの方に支援、ご声援を頂き、何とか勝利を勝ち取ることができた。県民の皆さんにお約束したことを実現するためしっかりと取り組んでいきたい」と話し、原発問題については「三つの検証を進め、検証結果を踏まえた上で責任者として判断し、県民に信

を問いたい」との見解をあらためて示した。池田氏の開票見守り場所となった新潟市中央区のホテル。敗戦の報を受け、着物姿で登場した池田氏は「ひとえに私の力不足。本当に申し訳ない」と謝辞。花角氏が掲げた将来的な原発ゼロの政策に対し、「実現に向けてしっかりと取り組んでいきたい」と述べた。選対本部長の菊田真紀子衆院議員は「奇跡は起きなかったが、戦いの歴史は必ず未来に続く」と信じている」と力を込めた。選対幹事長の森裕子参院議員も「戦いは続く。子どもたちに輝く未来を約束するため、前に進む」と呼び掛けた。

斎京氏、接戦制す

平良木氏 僅差で届かず

初当選を果たした斎京氏は「無名の新人にかかわらず大きな支援を頂いた」と支持者らに感謝を述べ、「自分が出馬した地域の人たちの声を県政に結び付けることが地方政治の原点。自分に投票しなかった人の声も含め、人の話をよく聞く県政になりたい」と決意を話した。高島修一衆院議員は「県知事選の花角さんとダブル当選でうれしさの倍。スクラムを組んで上越のために頑張らなう」と祝福。江口修一選対幹事長は「演説を聞けば彼の良さが分かる。今後さらに浸透させたい」と話した。僅差で敗れた平良木氏は「市民と野党が絆



初当選を喜ぶ斎京氏(中央、10日午後11時11分)